

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×話し下手は生まれつきで直らないと思うのは誤解だ！

自分から口下手だと言っている人の共通点は、意外な事実だが、話し方ではなく、表情の暗さにあることが多い。相手は表情に敏感で、話し手の表情が暗いと悪い話が出るのではないかと、聞く気をそがれてしまうものだ。だから、話し相手になるには、話し方ではなくて、まずは「笑い顔」の明るい表情をつくることから始めるといい。このことを言い当てる世界一といわれた声楽家マリア・カラスの言葉を最初にあげよう。「発声・演技の基本はスマイル。人間は口を横に開くことにより、他人との意思疎通ができる」ということは、笑い顔は、口をへの字に曲げるか、横に開いて白い歯を見せるかの違いで決まるということ。横に開いて歯を見せよう。それがあなたの笑い顔だ。

※目を見て話すということ

相手の目を笑顔で見ることで、一瞬の警戒心・緊張感をほぐし、親近感を育てる。以後の会話がスムーズにいくようになる。視線を相手に向ける時の、その割合の効果的比率は

- ・左右の目と口を結ぶ三角形の部分 75%
- ・あご 5%
- ・その他の部分 10%

両目から口元のあたりを、やわらかく見る。これが親しみを込める、自然な視線である。さあ、さっそく今日から実践してみよう！

※第一印象が決めてとなる

人の印象は最初の出会いで決まる。よい印象を与えれば、あなたの話しを興味深く聞いてもらえる。好印象を与える話し方は3つのポイントがある。

- ・礼儀正しいおじぎ
- ・明るい表情
- ・第一声の言葉

自分から口下手だと言っている人の共通点はなんですか？

()

好印象を与える話し方の3つのポイントは何ですか？

()

()

()